

平成 17 年度 K. C A T 活動報告～交通体系を活かしたまちづくりを目指して～

検討の動機：金沢に大きなインパクトが期待される新たな交通体系（金沢外環状道路、北陸新幹線）が整備中である

調査の目的：新たな交通体系を金沢のまちづくりに活かすため、まちづくりの方向性、交通環境のあり方、実現方策を検討

外環状道路を活かしたまちづくり

【テーマ】 -WA（輪）-で変わる金沢のまち

【提案内容】

●外環状と放射状道路のコラボレーション

- ・バス優先ルートの設定、24時間バス専用レーンの実現⇒公共交通とマイカーのすみ分け、バスの利便性向上
- ・バス優先ルートと外環状・中環状との交差点部にP&R駐車場を設置、環状バスの導入⇒公共交通とマイカーの連携、バスによる郊外間の移動の利便性向上

●総合物流集配システム

- ・東西ICや外環状の近辺に“集中集配センター”を配置し、広域的な荷物を集荷⇒バス専用ルートを活用し、“まちなか共同集配センター”へ迅速に集配（大型トラック）⇒まちなか共同集配センターで仕分けし、小型トラックでエリア配送⇒集配業務の効率化、迅速化

●外環状を走るクルマへの“もてなしナビ”

- ・まちなかのホットな情報を発信⇒インターネットナビでリアルタイムに情報をゲット⇒目的地までの最適コース、駐車場や施設の予約ができ、まちなかでは携帯電話で最新情報や駐車料金を確認⇒まちなか利用の利便性向上、まちなかの活性化

●“金沢の四門”美しいまちづくり

- ・外環状からまちなかへのエントランスロードの形成⇒美しい沿道景観の形成例）“四門”＝青龍・白虎・朱雀・玄武…東西南北の進入道路に、風水における四方の守護神である四獣を位置づけ、「都市を守る」というテーマを設定（東の門である“青龍”は辰巳用水の水と緑が映えるエントランスロードに）

●歩いて楽しいまちづくり

- ・まちなかの周辺部に駐車場を配置し、パーク&ウォークでまちなかへ⇒まちなかのクルマが減少⇒もともとクルマのスペースであった部分を歩行空間に活用（オープンカフェや路上パフォーマンスなど）



※K. C A T フォーラムで議論
2020年 交通が金沢を変える
外環状道路を活かしたまちづくりVS北陸新幹線を活かしたまちづくり

北陸新幹線を活かしたまちづくり

【テーマ】 駅から始まる物語 ～新幹線がもたらす金沢の革新～

【提案内容】

●質の高い軸状コンパクトシティ～メリハリのある開発

- ・都心軸への集中投資、郊外開発の抑制、古い町並みの保存⇒都市機能の拡散や中心部の空洞化を防止

●地球に優しく便利な二次交通～デュアル・モード・ビークル

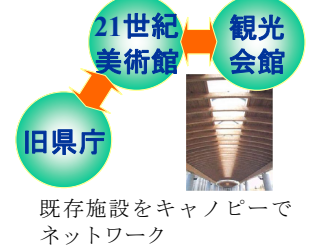
- ・都心軸と北陸鉄道石川線・浅野川線をDMVで接続⇒乗換えのロス削減、環境負荷軽減、定時性向上
[サブシステム] …得トクパスポート、ICカード相互利用、乗換検索システム

●文化が経済を育てるまち～上質のもてなしと日本の美でまちに潤いを

- ・国際会議場の充実（既存施設をキャノピーでネットワーク）、VIPをもてなす頂上作戦（旧県庁を利用した迎賓館、駅にVIP専用待合室、お茶屋や料亭をPR）⇒コンベンション利用の増大
- ・新たな広域観光ルートのPR（江戸・加賀・京の“新三都物語”）、本物の日本を味わうプランのPR⇒外国人観光客の呼び込み

●住み続けたいまち～地方発のビジネスと高い文化の発信

- ・金沢発産業のパワーアップ（出会いの場の提供や外へのPRにより外の英知と生の交流）、知的産業のまちなか誘致（空きオフィス・町家を知的産業の場にコンバージョン）⇒ビジネスチャンスを拡大
- ・北陸全体で既存施設の活用・連携、外との交流、人材育成⇒北陸文化の高度化“北陸文化クルージング”
- ・町家の貸別荘利用、“旅たび金沢暮らし”のPR（食、温泉療法、芸事のお稽古）⇒団塊世代の二地域居住
- ・通勤グリーン車（マイシート）、格安定期で利用する通勤立席車⇒新幹線通勤で利便性向上
- ・子育て環境の充実（他県にない子育て支援事業の強化、特色ある学校教育の充実）、商業施設の魅力アップ（日本海側唯一の人気ブランド店誘致、常連客へのサービス向上）⇒逆単身赴任家族の引き込み



問題点（会場アンケートより）

- ・郊外開発の進行、都市の分散、中心部の空洞化
- ・自動車依存の進行
- ・外環状周辺部の環境悪化
- ・圏外からの集客には直接結びつきにくい
- ・金沢が通過点になる
- ・高齢化への対応、公共交通の衰退
- ・パーク&ライドの実現性

etc.

北陸新幹線組が
高い支持を獲得

問題点（会場アンケートより）

- ・日常レベルでの居住者への効果は少ない
- ・郊外規制の限界（既に整備済み）
- ・ストロー効果によるマイナス効果
- ・利用料金が高いと利用少ない
- ・金沢駅周辺のみ利用になる
- ・環境負荷軽減効果は低い（在来線が新幹線に変わるだけ、建設時の負荷）
- ・在来線の活用

etc.

今後に向けての課題： ●外環状道路・北陸新幹線のメリットを活かし、デメリットを補完し合う取り組みが必要
●インフラの整備だけでなく、まちの魅力を高めるハード・ソフトの取り組みが必要